

学力向上に効果のある取組事例

臼杵市立下ノ江小学校

⑱図書館教育の充実

取組の具体①

家庭・学校・地域での役割分担

	ほっこり家読(うちどく)タイム	チャレンジ読書	すずの会
	家庭での取り組み	学校での取り組み	地域での取り組み
目的	◎家庭読書を通じて、家族のコミュニケーションを図る。 ○本に親しみ、豊かな心を育む。	◎いろいろな表現に触れ、語彙を増やす。 ○本に親しみ、豊かな心を育む。	◎地域の方とのコミュニケーションを図る。 ○本に親しみ、豊かな心を育む。
内容	細かい「きまり」はない。読書の活動を通じて、家族でコミュニケーションを図る。 (例) ・同じ本をちがう時間帯に読む。 ・同じ時間帯にちがう本を読む。 ・親子で読み聞かせをする。 ・読んだ本の感想を伝え合う。など	その学年におすすめの本を少しずつ読み進める。(質の確保) 【おすすめの本】 「チャレンジ読書日記」(県教委作成)や「たのしい読書」(過去の分)を参考に各自が選ぶ。 →各教室にコーナーを設ける	月に一度「すずの会」として、学年ごとに読み聞かせを行う。 平和集会とコラボレーションして、平和の本の読み聞かせを全校の前で行うことも計画する。
取組	○通信や懇談会で取り組みについて紹介・説明する。 ○月1回、「ほっこりファミリータイム」(家庭での会話)を「ほっこり家読タイム」として取り組む。 ※すずの会があったときの週末 ○ロイロノートでアンケートを行い、次年度に活かすとともに、それぞれの家庭がどのような取組をしているのかを保護者同士が互いに見られるようにする。	○通信や懇談会で取り組みについて紹介・説明する。 ○「マイタイム」(自分で学習内容を決める朝活動)や授業中の空き時間に読む機会をつくる。 ○目標をクラスごとに立て、意欲的に取り組めるようにする。	○通信や懇談会で取り組みについて紹介・説明する。 ○いろいろな方(地域・保護者)に参加していただけるよう、昼だけでなく、朝の読み聞かせも行う。

取組の具体②

学校でのその他の取組

①チャレンジ読書(質の確保→上記参照)

②多読賞(量の確保→読書の習慣化)

目標冊数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1学期	80	70	50	40	40	30
2学期	80	70	50	40	40	30
3学期	70	60	40	30	30	20

③読書まつりの開催(半期に1度、図書委員会を中心に)

・あいうえお読書、読書クイズ、宝探し、しおり作り体験、ビブリオバトル、読書ビンゴなど

④「23(ふみ)の日」の実施

・毎月23日は、家庭学習を読書のみにする。(読書時間の確保)

⑤図書館専門員との連携

・授業で活用できる本の選定、新刊コーナーなど